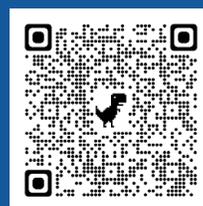


COVID-19と学際研究

2023年 3月18日(土) 13:00▶17:00

会場 オンライン (Zoom)

参加登録 <https://forms.gle/teiwLugcTsd8Mh7w6>
登録締切: 3月17日(金) 15:00



【概要】

医学・公衆衛生だけでは解決できない問題となったCOVID-19の課題を克服するためには、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた学際的な総合知が必要である。本シンポジウムでは、3名の拠点研究者の基調講演に続き、次世代を担う若手研究者8名に研究成果を紹介してもらう。このシンポジウムを通して、いかに専門領域の枠を超えた多様な「知」を集結し、学際的な研究を推進・発展させ、「感染症に対してレジリエントな社会の実現」に貢献していくのかを考えていきたい。

13:00-13:05

オープニング 石井直人 (医学系研究科・教授)
あいさつ 小谷元子 (東北大学理事・副学長)

進行 齊藤麻理子 (医学系研究科・助教)

13:05-14:35

第一部 基調講演

押谷仁 (医学系研究科・教授)
「COVID-19のパンデミックから明らかになった総合知の必要性とその課題」



佐野大輔 (工学研究科・教授)
「土木環境工学と公衆衛生」



佐藤弘夫 (文学研究科・教授)
「死者たちの回帰
—変動する日本人の死生観—」



14:40-16:20

第二部 若手研究者発表

【発表者】

今村剛朗 (医学系研究科・助教)
有田龍太郎 (医学系研究科・助教)
高奈秀匡 (流体科学研究所・教授)
草間太郎 (歯学研究科・助教)

<質疑応答 10分>

CHOI JEYOON (医学系研究科・大学院生)
永田彰平 (環境科学研究科・特任研究員)
藤媛媛 (東北アジア研究センター・助教)
増田友哉 (文学研究科・大学院生)

<質疑応答 10分>

—休憩—

16:25-16:55

第三部 意見交換

ファシリテータ
小坂健 (歯学研究科・教授)

16:55-17:00
クロージング



講演要旨

